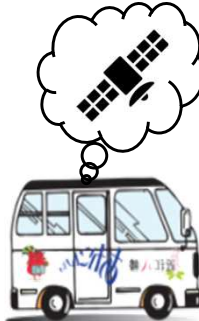


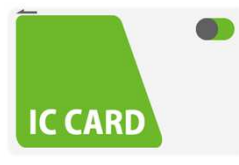




自治体名	滋賀県近江八幡市	人口	81,916人	事業費	39,483千円
事業概要	本市が運行する市民バス「あかこんバス」では、道路状況や天候等により遅延が発生した場合に、運行状況の問い合わせ等が多数入っているような状況です。また、支払い方法も定期券・企画乗車券のスマホアプリ販売以外現金と紙媒体の回数券のみとなっています。このようなことから、利便性向上のため、バスロケーションシステム及び交通系ICカード決済の導入を行うものです。				
具体サービス	<div><p>【動的情報の提供】</p><ul style="list-style-type: none">・バスロケーションシステム バスのリアルタイムの運行状況等を利用者に提供するもの・デジタルサイネージ スマートフォン等を持ち合わせていない利用者でも、リアルタイムの運行状況の取得を可能にするもの</div> <div><p>【支払い方法の多様化】</p><ul style="list-style-type: none">・交通系ICカード決済 ICOCAをはじめとする、交通系ICカード決済を導入するもの・自動販売機設置 キャッシュレス化を実施したうえで、引き続き紙媒体の回数券を使用したい人に向けて、担当課窓口及びバス車内で販売している回数券を自動販売機にて販売するもの</div>	<div><p>【動的情報の提供】</p><p>バスロケーションシステム（15台分）</p><div></div><p>デジタルサイネージ （屋外用2基、屋内用2基）</p><div></div></div> <div><p>【運賃支払い方法の多様化】</p><div><div><p>現金</p></div><div><p>交通系ICカード</p></div><div><p>スマホアプリ</p></div><div><p>自動販売機</p></div></div></div>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①バスロケーションシステム情報提供数</p> <p>②交通系ICカード決済・自動販売機利用 件数</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①バスロケーションシステム情報提供数</p> <p>②市民バス利用者数</p>		

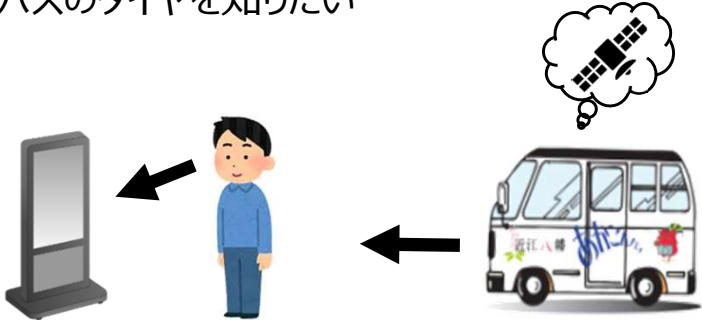
サービス名	動的情報の提供 【バスロケーションシステム、デジタルサイネージの導入】	事業費	22,266千円
ターゲット	市民バス利用者		
サービス内容			

バスロケーションシステムは、バス車両（15台）にGPS端末を搭載し、バスの現在位置や遅れなどの運行状況をスマートフォンアプリ等から閲覧できるものです。バスロケーションシステムを導入することにより、道路状況や悪天候等により遅延が発生した際にも、リアルタイムで現在位置や遅延状況をスマートフォンアプリ等から閲覧でき、都度問い合わせをすることなくバス停での待ち時間の予測をすることができるようになり、利用者の不安感を軽減できます。

また、スマートフォンアプリなどを利用することができない人のため、ディスプレイ等の電子的な表示機器を使用し情報を発信するデジタルサイネージを、屋内用を全ての路線が停車する市役所及び総合医療センターの受付に、屋外用を庁舎玄関前及びJR線、近江鉄道線との交通結節点となる近江八幡駅北口に設置するものです。

【現状】


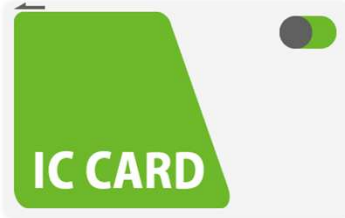


- ・バスは今どこを走っているのか？
- ・走行ルートは？
- ・バス停の位置はどこか？
- ・バスのダイヤを知りたい



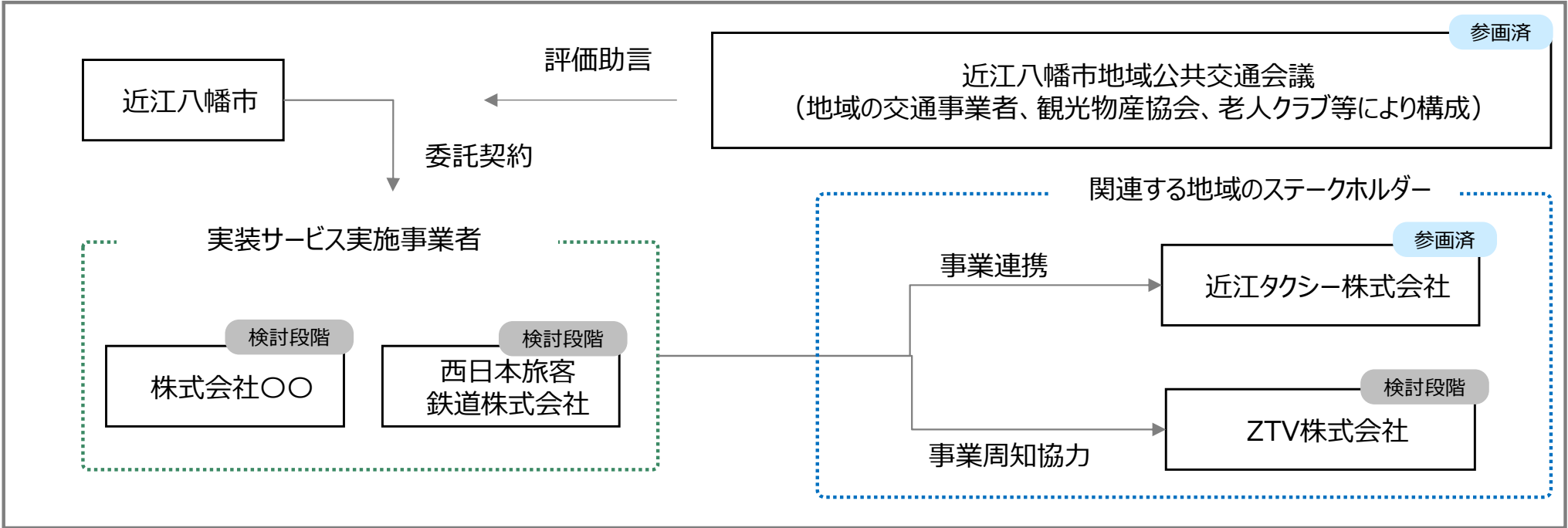
【バスロケーションシステムの導入により、課題を解決する】

- ・バスの現在地を提供することができる
- ・バスの遅延及び接近情報を提供することができる
- ・走行ルート、バス停位置、ダイヤを検索することができる
- ・多言語にて表示することにより、外国人利用者への対応ができる
- ・遅延情報等の運行データをダイヤ改正時の根拠として活用することができる
- ・誰もがリアルタイムの運行状況を知ることができる
- ・デジタル化によって紙媒体の時刻表を削除することができる

☑ 上記サービスの実装にあたり、国による他の補助金等の対象となる可能性のある事業は、当該補助金等を利用することについて確認した

サービス名	支払い方法の多様化 【交通系キャッシュレス決済、自動販売機の導入】	事業費	17,217千円
ターゲット	市民バス利用者		
サービス内容	<p>現在、現金・車内販売の回数券・市役所窓口販売の定期券（アプリ導入済）に限られている、支払方法の多様化に取り組めます。キャッシュレス化の促進により担い手不足となっているバス運転手の負担軽減や安全運行の徹底につながると考えます。</p> <p>①交通系キャッシュレス決済を導入します</p> <p>国土交通省による調査では、公共交通機関利用者のうち約6割程度の方が交通系ICカードを利用されています。令和6年度に実施した市民バス利用者アンケートでも交通系ICカードの利用希望があることから、現金払いのキャッシュレス化策として交通系キャッシュレスを導入します。</p> <p>②回数券・定期券の自動販売機を設置します</p> <p>交通系ICカードやスマートフォンアプリの利用が難しい利用者に対して、市役所 1 階に乗車券販売用の自動販売機を設置し、利便性の向上を図るものです。自動販売機の設置により窓口で回数券を買いに行く必要がないことから、窓口受付時間外での利用も可能となります。</p> <div><div><p>現金</p></div><div><p>交通系キャッシュレス</p></div><div><p>スマホアプリ</p></div><div><p>自動販売機</p></div></div>		
<p>☑ 上記サービスの実装にあたり、国による他の補助金等の対象となる可能性のある事業は、当該補助金等を利用することについて確認した</p>			

■ 事業推進体制



名称	役割
近江八幡市	<ul style="list-style-type: none">事業計画の立案報告書作成をはじめとする事業全般の管理・統括業務内諾済
株式会社〇〇	<ul style="list-style-type: none">バスロケーションシステム等をはじめとするシステムの開発（一般競争入札を予定）
西日本旅客鉄道株式会社	<ul style="list-style-type: none">交通系キャッシュレス決済システムの導入
近江タクシー株式会社	<ul style="list-style-type: none">市民バス運行管理委託業者としてデジタル実装事業への参画及び連携

名称	役割
株式会社ZTV	<ul style="list-style-type: none">CATVを活用した事業周知協力
近江八幡市地域公共交通会議	<ul style="list-style-type: none">事業内容への評価及び助言（年に3回程度の開催を予定）